

『(財)中島記念国際交流財団助成』(独)日本学生支援機構実施事業
多文化共生コミュニティーづくりへ
— 留学生の就職を応援 —

実施報告書

2010年12月

鳥取県留学生等交流推進協議会

— 目 次 —

1. 事業概要	1
2. 外国人留学生のための就職講演会	2
3. 就職希望の留学生のための企業見学旅行	4
4. 外国人留学生のための就職に関する情報交換会	12

1. 事業概要

1) 目的

本事業は、財団法人中島記念国際交流財団助成による平成22年度留学生地域交流事業として、日本国内での就職を希望する留学生を応援するために企画し、実施したものです。

具体的には、国内企業への就職を希望している留学生に向けて、3つの事業－「就職講演会」「企業見学会」「就職に関する情報交換会」－を立て、1年間で包括的に実施することにより、「知識」「実践」「実見」「フォローアップ」という一連の流れの中で、留学生の就職力を向上させることを目的としています。

また、本事業実施に際しては、地域住民も参加することにより、相互の理解を深めるとともに異文化交流を行い、多文化共生社会の実現に向けての一助になることも期待しています。

2) 具体的な内容及び日程

月　　日	事　業　内　容
6月12日（土）	留学生のための就職講演会開催
9月14日（火）～ 9月15日（水）	就職希望の留学生のための企業見学旅行
11月2日（火）	留学生のための就職に関する情報交換会

3) 事業の周知方法

平成21年度に『(財) 中島記念国際交流財団助成』による留学生地域交流事業において構築した地域国際交流ウェブサイトやメール、文書による案内などにより、鳥取県留学生等交流推進協議会会員への事業の周知を図るとともに、学内留学生向けホームページにより、鳥取大学留学生への参加を呼びかけました。また、県内の教育機関へも呼びかけ、広く留学生の参加を求めました。

2. 外国人留学生のための就職講演会

- 1) 日 時：平成 22 年 6 月 12 日（土）
- 2) 場 所：鳥取大学広報センター
- 3) 参加人数：留学生 15 名、鳥取大学教職員 9 名（うち、国際交流センター 2 名、キャリアセンター 1 名、就職支援課 3 名、国際交流課 3 名）
- 4) 講 師：角本 直樹 氏
(こころを育てる教育企業 株式会社 S O R A 顧問 「オフィスあおぞら（カウンセリングルーム”青空”、青空行政書士事務所 主宰）」)
- 5) 概 要：

6月12日（土）、鳥取県留学生等交流推進協議会（主管：鳥取大学国際交流課）の主催により、「留学生のための就職講演会」を開催しました。これは、鳥取大学キャリアセンターの協力も得て実施したもので、鳥取短期大学及び米子工業高等専門学校の留学生3名を含む、中国、韓国、ベトナム、マレーシアの4か国 15 名の留学生が参加しました。

本講演会では、神戸の株式会社 S O R A（こころを育てる教育企業）から講師を招き、「日本での就職活動とその実情」についての講演と自己分析に関する研修を行いました。鳥取大学初の留学生を対象とした就職講演会ということもあり、わかりやすく具体例を交えた講師の説明に、留学生たちは真剣に聞き入っていました。また、就活に必要な自己分析に関する研修では、受講者はテーブルごとに分かれ、S P（サブ・パーソナリティ）トランプを使い、自分自身の強みや弱みを分析し、自己理解を深めました。

講演のあとは、就活に関する活発な質疑応答があり、留学生たちにとって、具体的なキャリアプランを考えるきっかけともなる、有意義な講演会となりました。



講演会に聞き入る留学生



S Pトランプを使ってのワーク

6) 就職講演会アンケート集計（参加学生数 15 名）

Q1. 所属・学年

選択肢	回答者数	割合 (%)
1. 学部生	6	40
2. 大学院生	5	33
3. 研究生	1	7
4. 特別聴講（研究）学生	0	0
5. その他	3	20

Q2. この講演会を知ったきっかけ

選択肢	回答者数	割合 (%)
1. 掲示など	5	33
2. ホームページ	7	47
3. 友人・知人の紹介	1	7
4. その他	2	13

Q3. 講演会について

選択肢	回答者数	割合 (%)
1. 大変よかったです	6	40
2. よかったです	9	60
3. 普通	0	0
4. あまり参考にならなかった	0	0

理由

1. 大変よかったです

- 現実的な話を聞けるようになって大変よかったですと 思います。自分のメリットや弱点について深く考えるようになりました。自己分析がんばります。
- 就職活動について勉強して来ます。
- 私が聞きたいことを聞いたし、自分の分析ができました。

2. よかったです

- いつから就活をしたらいのかあまりピンとこなかつたが、今回の講演を通じて色々な情報が分かりました。

講演の内容（一部資料抜粋）



Q4. 卒業（修了）後、日本での就職を希望していますか

選択肢	回答者数	割合 (%)
1. 希望している	13	87
2. 希望していない	0	0
3. 未定	2	13

Q5. 9月に広島への企業見学旅行を計画していますが参加を希望しますか

選択肢	回答者数	割合 (%)
1. ぜひ参加したい	6	40
2. 都合がつけたい参加したい	8	53
3. 参加しない	1	7

Q6. 講演会についての意見・感想

- よそ者になるようにがんばります。私、4月に日本に来たばかりなんですけど、もう6月に就活が始まっちゃったので、大変でした。今から目標を決めてがんばりたいと思いました。
- 外国人のための講演がもっと多くなってほしいです。
- 特別なトランプは気に入りました。全体な講演会は注意ぶかく聞きましたので、これから就職活動に役に立てる情報もたくさん取り入れましたので、本当に今回の講演会に出席してよかったです。
- 就活は、一番重要なのは自分自身ですが、こういう講演会を通じて、勇気や目標をみつけることができるので、あってよかったです。
- またこのような活動がもっと多くなるとよいです。

■自己分析のワーク

- SP（サブパーソナリティ）トランプを使って
- SPトランプとは？
- テーブルごとのワーク
 - ①自分にピッタリを10枚選ぶ
 - ②それらを使って自己紹介（一人3分）
 - ③自分が選んだトランプの種類と枚数をメモ
 - ④シーカツの足を引っ張るSPは？
 - ⑤カバーしてくれるSPは？

3. 就職希望の留学生のための企業見学旅行

- 1) 日 時：平成 22 年 9 月 14 日（火）～15 日（水）
- 2) 場 所：大山ハム株式会社米子工場（米子市）、
マツダ株式会社本社工場（広島県安芸郡）
- 3) 参加人数：留学生 23 名、鳥取大学教職員 3 名（うち、国際交流センター 1 名、就職支援課 1 名、国際交流課 1 名）
- 4) 概 要：

9月14日（火）～9月15日（水）、「留学生のための広島企業見学旅行」を実施しました。鳥取大学キャリアセンターと共同で企業見学を企画したもので、鳥取短期大学及び米子工業高等専門学校の留学生2名を含む、中国、韓国、モンゴル、エジプト、ジンバブエ、カンボジアの6か国 23 名の留学生が参加しました。

第1日目は、鳥取県米子市に位置する日清製粉グループの企業「大山ハム株式会社米子工場」を訪問。会社概要及び製造工程の説明ビデオ視聴の後、それぞれ白衣、帽子を装着して、工場のクリーンルームに入り、製造の様子を見学しました。製造過程の緻密さ、徹底した安全衛生管理に留学生たちも感心して見入っていました。見学後は、工場で製造しているハム・ソーセージの試食もあり、大山ハム自慢の味に舌鼓を打ちました。

第2日目は、広島市内に移動し、マツダ株式会社本社工場を訪問しました。多数展示されている最先端技術を用いた次世代型の自動車や搭載エンジンなどに、思わず歓声を上げる者もあり、車の組み立てラインでは、ロボットによる精密な動作の様子などを興味深く見学していました。

見学後は、平和記念公園で自由昼食とし、広島の歴史に触れる機会も得、今回の見学会では、留学生たちにとって、日本企業の厳しい食品衛生管理や自動車製造の最先端技術に触ることのできる有意義な機会となりました。



大山ハム工場での説明会



マツダ本社工場にて

5) 参加した留学生の感想

鳥取大学地域学部 李 亞利（中国）

今回の広島見学で訪問させていただいた大山ハムにおいて、特に印象的でしたので大山ハム工場について書かせていただきます。

工場内の第一印象は、このような所で作られているのだ、と不思議な感じでした。見学を通して普段食べているハムがより身近になりました。実際の製造過程を見学して、とても興味がわきました。

特にハムに具を詰めている所を拝見させて頂きましたが、機械でなく人の手によって一つ一つ入れているのには驚きました。働いている皆さん一生懸命やっていたのを目の当たりにしました。働いている皆さんの丁寧な作業が、試食の時にいただいたハムを通して伝わりました。

衛生管理について、食料品ということで当然ながら徹底さに大変驚きました。作業している方々や工場施設の徹底した衛生管理を見て、安全なハムを提供してくれているのだと実感しました。衛生面の徹底は我々中国の企業も見習わなくてはならない問題であると思いました。

ハムの種類の豊富さと比例して、機械の種類の多彩さに驚きました。一方でもっと他の機械が動いている所も見られたらもっと良かったかと思います

次にマツダ工場を訪問させていただき、マツダの歴史を理解させていただきました。さらに、エンジンの製造課程の精密さ、緻密さ、速さから機械の技術の高さを知り、驚きました。まだ、その機器の速さに並行して女性を含むが仕上げ作業を行っているところを拝見し、機械だけでなく、一人一人の技術の高さに感動しました。

他大学の学生との工場見学は初めてでしたが良い交流を持てたと思います。また準備や企画がよく練られておりとても良い経験になりました。今までで一番楽しい見学会でした。普段見ることができない所が見られてとてもいい勉強になりました。こういった見学は、初めてでしたので、すごく新鮮でした。こういった機会があれば、また参加させていただきたいです。

お忙しい中このような工場見学を開催していただき、とても良い経験ができました。ありがとうございました。これらを活かして、就職活動に励みたいと思います。



鳥取大学地域学部 朴 祐景（韓国）

今回の広島企業見学は考えたこともないよい機会でした。今年の4月に日本に来て6ヶ月、まだ鳥取県以外にはどこにも行った事がないし、日本で就職したかったのですが、日本は私の国の会社と違ってどんな雰囲気を持っているのか気になりました。しかし、今回の広島見学を通じて、気になったことが少しだけでも解消できました。

米子のハム工場は日本人が商品に向かう姿勢について感じました。特にその工場だけではないと思いますが、確かに日本人にとっては信頼、安全などはすごく大事なことで一回失った信頼は取り戻しにくいと言われました。私にとってはハム工場の行動が商品の質を高めるためにはよいが、細かく管理する体系が商品の値段を上げているに違いないと思いました。それで、流通経路がパン屋みたいに良く使われるところやお土産用が大体のハム売り上げを占めることも当たり前だと思いました。

それから、同じ商品を生産している他の企業とは違う点を発見しました。大企業はそれなりの戦略を使っているし、米子のハム工場は小企業なりの行き方を使っていました。そして、その企業が商品の価格を高くするのも理解できました。もしかしてその企業が大企業を目指して無理しながら商売をしたら今の企業作りに失敗したかもしれません。

広島の自動車会社の見学も昔から今までの会社を代表する車を見られる展示館を行って面白かったです。半世紀だけでも予想以上発展してきた車作りの技術に驚きました。あと、記憶に残ったのは男ばかりの工場で女一人が熱心に車を作っていた姿でした。

今回の体験では自分が就職するために、就職した後のこととも考えるようになりました。自分がどんな方向を目指していくのか、やりたいことがあれば周りのまなざしや意見は気にせず、いけばいいと思いました。また、今度いい機会があることを期待しております。

鳥取大学工学研究科 賈 漢超（中国）

日本は先進国で、工業商品が大量に海外に輸出されています。特に化粧品、食品、自動車、電気製品などは世界中質の高さを求める消費者に大変受け入れられています。そのため、せっかく日本に留学するのだから、是非実際に工場の様子を見ようと思っている留学生が多いです。9月14日、15日、鳥取県留学生等交流推進協議会と各学校のおかげで、私たち鳥取県の留学生は大山ハム、広島マツダ工場に見学旅行を行いました。

14日午前10時過ぎ、中国地方で一番高い大山を望む米子にある大山ハム株式会社に着きました。会社の方はとても親切で、資料とお茶をもう用意しておられました。早速見学が始まりました。最初、私たちはビデオを見ながら、会社の方が熱心に会社の歴史、ハムの生産過程などの紹介されるのを聞きました。それから、製品工場の一部を見学しました。きれいな工場内の様子や、何よりも作業者の真剣な姿に、みんなは見入っていました。厳しい食品

安全管理と高い質の原因がなんとなく分かったようでした。最後、色んなおいしいハムを試食して、全員、感謝の気持ち一杯になりました。

お昼、大山ハムを離れ、広島に行きました。次の日、有名な大企業マツダ株式会社を知る機会となり、期待と緊張が高まる中、マツダミュージアムの見学が始まりました。本社として、広島の工場は私が思ったよりもっと広かったです。まず、企業紹介VTRを見ました。終わった後、展示スペースへ移動しました。マツダの歴史や自動車の製造工程の紹介をはじめとして、マツダの環境技術である水素自動車に関する開発の歴史や最新技術などを展示しています。私たちはマツダを代表する名車などを写真撮影しながら、説明員の話を聞いていました。マツダはロータリーエンジンが世界で唯一量産可能な会社として、現在では、地球上に優しい水素ロータリーエンジンの開発に取り組んで、水素ロータリーエンジン車の汎用化をめざしています。また、実際の組立工場の見学もあり、生産ラインを上から見下ろす形で見学できます。みんなは産業用ロボットにとても興味があるようでした。完成した車は一万台以上泊めることができる駐車場に移動されて、船で世界に運ぶということでした。そのスケールと圧倒的な現実感で、私たちに強いインパクトを与えました。しかし、見学の時間が短くて、ミュージアム以外の場所は撮影禁止で、残念でした。

帰る途中で、大山ハムからおいしいハムをプレゼントされて感激しました。みんなはかなり疲れましたが、見るうちにいろいろなことが分かってきて面白く興味が湧いてきました。日本の工業生産の理解を深めていただくための工場見学、人生の貴重な体験になりました。また、大山ハムの方々は親切で、ハムを下さって、私たちの心に深く印象づけられました。今回は、非常に充実した見学だと思います。今後、もし見学の機会があれば、是非もう一度参加します。もっと見聞を広めて、将来の仕事に役立つと予想されます。



2010年9月14日、15日、二日間をかけて、私たち鳥取大学の留学生は、大山ハム工場と広島の世界的に有名な自動車メーカーマツダ自動車工場の見学ができ、そして、広島有数の観光地である原爆ドームへも行って来た。非常にいい勉強になった見学だと思っている。

14日、激しい雨の日に、私たち留学生は、米子にある大山ハム工場を向けて、出発した。大山ハム工場に関することは全然知らないし、どんな工場であろうか、期待している。そして、日本の食品企業に対する法律、規則はとても厳しいということはよく耳にするけれど、実際に行って見ないと、自分なりの感覚ができないと思う。

9号線一本道で、バスが走って、3時間ぐらいをかけて、大山ハム工場に着いた。最初、大山ハム工場の関係者に、プロジェクトを使って、ハム工場について、説明してもらった。それを通じて、大山ハム工場の歴史、発展戦略とハムの製造過程をよくわかるようになり、大山ハム工場の仕組みもある程度の把握ができた。

そして、関係者と一緒に工場に入って、実際にハムの製造過程を見ることができた。ガラスの窓を通して、向こうの無菌室に、制服を着て、マスクをかぶっている労働者たちが一生懸命に働いている姿はとても印象深い。生産ラインで、流れ作業だから、みんなのスピードが非常に速いと思う。関係者の話によると、この生産工場に入る前に、二回消毒をしないといけない。またいろいろな衛生標準を壁に貼ってあるので、いつもみんなに気づかせている。最近、食品安全に関する意識をすごく高まっていると同時に、食品企業側もそれに応じて、対応している。

最後に、大山ハム工場が生産する何種類のハムを用意していただき、試食ということになった。とてもおいしいハムだった。

翌日、15日に広島マツダ工場の見学だった。マツダは世界的に有名な自動車生産メーカーであり、非常にすばらしい企業だと思っている。だから、行く前にみんなは興奮している。

マツダ工場について、同じようにプロジェクトで、マツダの概況と後の見学時の注意事項を勉強した。そして、案内員のガイドをうけて、見学を始めた。

最初、マツダの歴史に関する写真を見て、マツダという企業はどういうふうに発展して来たのをわかるようになった。マツダは昔生産された古い車を見ることによって、自動車産業の技術の発展と進歩を感じることができた。また、マツダの車の生産過程を最初から仕上げるまで詳しく展示しているから、すごく理解しやすかった。

次は、生産ラインに入って、実際にマツダ車の生産過程を見た。自動化が非常に高い生産ラインだと思う。同じ生産ラインだけれど、生産する車が全然違って、生産者は、パソコンの指示を受けて、それぞれの動きを決めて、そして仕上げた車を機械で自動的に倉庫まで運ばれる。みんなは、このすばらしい工場を見て、驚いた。

今度の見学を通じて、私は日本企業の雰囲気を感じることができ、日本企業のやり方がある程度の理解を深めた。いつも褒められている日本製品の品質をどういうふうにできるかということが実感できた。将来私の就職にも大変役に立つと思われる。もし、またこんな機

会があれば、私はぜひ参加したいと思う。

鳥取大学連合農学研究科 AHMED MOHSEN ALY (エジプト)

On 14/9/2010, I attended factory trip for International students for two days which was sponsored by Center for International Affairs (CIA). The past of tour was visiting Daisen-Ham factory in Tottori prefecture at 14/9 and next day visiting Mazda Motor Corp in Hiroshima prefecture.

Daisen-Ham Factory

We visited this factory which activity of this factory is manufacture of meat for all type. Volunteer of factory showed video of history of this factory and process of production manufacture step by step. After that, volunteer did simple tour for us inside the factory to show the process of manufacture in true. I saw the good system in manufacture and regular among labours. In the end of visiting this factory, we did questionnaire about their production.

Mazda Motor Crop

We visited this company which activity of this company is manufacture of vehicle for all size. We visited the museum of this company inside of factory and volunteer of factory showed video of history of this company and newest technology of motor field and visiting the museum to details of process of production manufacture step by step for vehicles and show the showroom of olds cars and new cars. After that, volunteer did simple tour for us inside the factory to show the process of manufacture in true. I saw the good and speedy in operation for system in manufacture and regular among labours.

I think this trip was worth attending because it is first time to visit companies in Japan and not simple companies but it is international companies as Mazda Motor Crop. And also, I learned a lot about the many technologies that applied in these companies and have new ideas about why they make sense in our business and what we should do next. I would recommend repeating the same idea of trips for other companies.



鳥取短期大学 孫 佳（中国）

今回の二日間の広島企業見学ツアーに参加できて、本当によかったです。正直に言うと、今回のツアーを応募したのは、企業の見学は一つの狙いで、主に広島に一度行ってみて、どんなところか知りたかったし、そして世界遺産の文化遺産に登録された広島の平和公園にある原爆ドームを実際に見たかったです。

振り返ってみると、一日目、大山ハム工場を訪れました。社長さんの挨拶から、引き続き、会社案内がありました。工場や製品の製造の流れの説明をそれぞれスライドとビデオで見ました。その後、スライスハムのパック作業の工程を見学しました。最後に、工場見学の一環として、試食がありました。テーブルの上には、この会社で、製造・仕上げたハムやワインナソーセージが置いてありました。それぞれの種類が異なって、みんなおいしそうに見えました。試食したところ、その中のバイセヴルストというドイツの伝統的なフランクフルトソーセージがしっかりした歯ごたえがあって、一番おいしかったと思います。広島市内についたのがその日の夕方です。バスの窓からの街中の風景を見て、まるでまた上海に戻ったみたいで、やはり近代的なイメージです。

翌日の朝、まず広島マツダ工場を見学に行きました。工場内の展示車の台数と種類の多さに驚きました。私は形が変わっている何台かの車に好奇心に駆られて、撮影に夢中になりました。また一台車が出来上がるまでの作業と壁にぶつかった事故後のシミュレーションの車を見て、車の安全性と耐久性に優れたことに心から感心しました。それから30分後、原爆ドームのある平和公園に行きました。原爆ドームは世界平和のシンボルとして人々に知られています。以前「見るたびに悲しい思いがよみがえる」と言って、取り壊してほしいという人もいたそうですが、一人の女子高校生の梶山（かじやま）ひろ子さんの日記の影響で、みんなに知れ渡ったため、1966年広島市議会は永遠にそのままの状態で保ちとどめておくと決めたことをこの前伺いました。

広島の瀬戸内海にある海産物特にカキが有名で、尾道海道は観光名所として全国に知られているので、もっと時間があれば、広島の旅情をさらに満喫したいと思います。



6) アンケート集計（参加学生数 23 名、未回答者数 1 名）

Q1. このイベントを知ったきっかけ

選 抹 肢	回答者数	割合 (%)
1. 学校の掲示など	1	5
2. 学校のホームページ	16	72
3. 友人・知人の紹介	1	5
4. 学校職員の紹介	4	18
5. その他		
合 計	22	—

その他（主なもの）：

Q2. 企業見学はいかがでしたか（大山ハム工場）

選 抹 肢	回答者数	割合 (%)
1. 大変満足した	15	68
2. 満足した	7	32
3. 普通		
4. やや不満だ		
5. 不満だ		
合 計	22	—

主な理由：

- ・普通は入れないところを近い場で見れたので面白かった。試食が良かつた。環境がきれい。
- ・ハムの作り方を理解した。現代化されている生産工程を見てびっくりした。とてもよい工場だと思った。
- ・日本の食品安全管理の厳しさを実感した。
- ・おいしかった。ハムの作り方がたいへん楽しかった。
- ・ハムとソーセージの作り方について知識をたくさん得ました。

Q3. 企業見学はいかがでしたか（マツダ自動車工場）

選 抹 肢	回答者数	割合 (%)
1. 大変満足した	13	59
2. 満足した	6	27
3. 普通	3	14
4. やや不満だ		
5. 不満だ		
合 計	22	—

主な理由：

- ・試乗が良かつた。勉強になりました。時間をもっと長ければ良かった。技術先進。
- ・すごい工場を見学してめずらしい経験が残りました。たいへん楽しかった。車がかっこいい。
- ・車の歴史と作り方を教えてもらいました。
- ・会社の歴史のほか、管理体制等も知りたい。
- ・実際に車の生産工程を見て、いい勉強になりました。

Q4. 事業に参加しての意見・感想

主な理由：

4. 外国人留学生のための就職に関する情報交換会

1) 日 時：平成 22 年 11 月 2 日（火）16 時 30 分～18 時

2) 場 所：鳥取大学共通教育棟第 1 会議室

3) 参加人数：留学生 11 名、鳥取北ロータリークラブ 1 名、

鳥取大学教職員 12 名（国際交流センター 6 人、就職支援課 1 人、国際交流課 5 人）合計 24 名

4) 講 師：宇野 次典 氏（鳥取中央ロータリークラブ、有限会社ウノコーポレーション（マクドナルド鳥取店）代表取締役）

陸 琳 氏 2009 年 3 月工学研究科修了（京セラミタ株式会社）

牟 猛 氏 2009 年 3 月工学研究科修了（株式会社天辻鋼球製作所）

副井 裕 氏（鳥取大学学長補佐・キャリアセンター）

5) 概 要：

11 月 2 日（火）、鳥取県留学生等交流推進協議会（主管：鳥取大学国際交流課）の主催による「留学生のための就職に関する情報交換会」を実施しました。協議会会員及び鳥取大学キャリアセンターと協力し、鳥取短期大学の留学生 1 名を含む、日本企業での就職を希望する 11 名の留学生が参加しました。

はじめに、鳥取中央ロータリークラブ会員宇野氏（ウノコーポレーション（マクドナルド鳥取店）代表取締役）より講演があり、企業経営者として、「多様性は企業の成長力の原点になる」と、外国人雇用のメリットを述べたうえで、日本に就職をするに当たっての注意やアドバイスを行いました。続いて鳥取大学を卒業し、現在日本企業で活躍している先輩留学生から、就活及び就職の実情などを紹介、さらに、鳥取大学キャリアセンターから、就活へのアドバイスや、キャリアセンターで行っている支援活動などの情報提供が行われました。

それぞれの講演、説明終了後は、在学生からの質問コーナーを設け、国際交流センター職員や鳥取北ロータリークラブ会員も交えて、「日本企業で求められる日本語能力はどれ位か」など多岐に渡る活発な質疑応答が行われました。



6) 講演資料

- 講師：宇野 次典 氏（鳥取中央ロータリークラブ、
ウノコーポレーション（マクドナルド鳥取店）代表取締役）
「地域企業からの助言—留学生が就職活動に取り組むに当たってのアドバイスー」

Information Exchange

日本マクドナルドFC
(有)ウノコーポレーション
代表取締役社長 宇野 次典



— 会社概要 —

- 全国 3, 856 店舗（10年9月現在）
- ハンバーガーチェーン（世界では3万店）
- 鳥取市内 4 店舗、金吉市 1 店舗 朱子市内 4 店舗、境港市 1 店舗 計 10 店舗
- 従業員（アルバイト）10店舗計 500 名在籍
- 従業員の年齢層は 16 歳～64 歳と高範囲
- 仕事内容は、【店舗マネジメント】
【ハンバーガー製造】【接客】【店舗撤入】

達成可能

- 一生懸命働き、根気強さがあれば何でも達成でき、夢は叶う



考えてみよう

- 言葉
- 雇用
- 生活文化
- 反日感情
- 残業
- 領土問題
- 休憩
- 情報問題
- 食事



就職活動

- ◆ パイプ役
- ◆ 専門職
- ◆ Diversity



能力

- 日本語能力
- 異文化適応能力
- スキル





People Business

- 会社(マクドナルド)は「People Business」である。
お金の為にBusinessをしてはならない



Leader Ship I

- 他社をよく理解するために、オープンにコミュニケーションし、意見に耳を傾ける
- 個人の責任を受け入れ、常に実行する
- 常にコーチし学習する



Leader Ship II

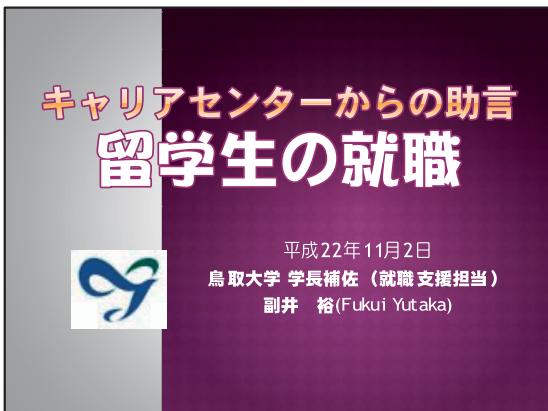
- 積極的でフレンドリーな意欲的な雰囲気を作る
- 高いカスタマーサービス基準を示す事で従業員のロールモデルとしての役割を果たす
- マクドナルドにとって最善であるよう行動する



○ 講師：副井 裕 氏

(鳥取大学学長補佐（就職支援担当）・鳥取大学キャリアセンター)

「キャリアセンターからの助言－留学生の就職－」



最近の就職動向

- エントリーシート、グループ面接、グループディスカッション、テストセンター（SPI2）
- 学生の『自発性、積極性』を重視
- 多面的な選考
- 高水準の業界研究、志望企業研究が必要

2

留学生を採用する理由

- 優秀な人材の確保
- 事業の国際化への対応
- 外国語使用の必要性など

留学生に期待する役割

- 日本人社員と同様
- 海外取引の専門人材
- 高度な技術を持つ専門人材など

3

シーカツ（就活）とは？

単に仕事に就くための活動？

- 自分と向き合い、社会と関わりをもつ中で、**自分の将来や人生**について考え、**仕事を決める活動**



4

シーカツを通じて成長

- 昨日より今日、今日より明日成長することが大切
- その度合いは意識の持ち方による
- 1日5分間、その日の行動を振り返る→自分との新しい出会い
- メモする



5

留学生としての自分

- 自分の長所・強み→**自己PR**
- いつ日本に興味を持ったか、留学を決めた理由は何か
- 日本で就職したいと思った理由と将来計画
- 母国で就職しようと思わなかった理由
- 日本へ留学して良かったこと
- その企業への志望動機

などを**ES, 面接対策**として考えておく

6

 就職情報の入手

- 指導教員、先輩、保護者
- キャリアセンター「就職支援システム」
- 学部・学科就職支援室
- 企業説明会、パンフレット、HP
- 就職支援サイト マイナビ、リクナビ、日経、enなど
- シーカツ本、雑誌、新聞

情報に振り回されないこと

多様化・複雑化する採用方法

就職活動の大まかな流れをつかもう

- 就職ガイダンス、就職相談
- 自己分析**、志望業界・会社・職種の検討
- エントリー（資料請求） 多数
- 今 ➔ ●会社説明会 ESの提出（web or 郵送、1次）
- 筆記試験（SPI2など）・面接・GD
- （最終）面接
- 内定 **おめでとう！**



エントリーシート（ES）

- 担当者が1分で理解できるように書く
まず結論→その理由→具体事例・エピソード
- 単なる作文・感想文ではだめ
企画書・商品カタログを作る気で！
- キャッチコピー（強調ポイント）で自分という商品をPR

11月30日(火) ES対策講座
(株)ダイアモンドBL

重要視する企業数（社）

人間力	重要視する企業数（社）
コミュニケーション能力	64社
行動力	50社
熱意	34社
人柄	31社
学生時代の活動	15社
責任感	13社
協調性	11社
価値観	7社
学習力	2社*
マナー	1社
面接	0社
成績	0社*
その他	22社

企業側から見て
どんな人材を探りたいか

主要企業100社を調査

面接重視

図1 企業が採用時に重視する能力①

就職で大切な3つのポイント

ES、面接

1. 志望動機
なぜ当社を選び、何をしたいのか?
〔業界・企業・職種研究〕
2. 自己PR
セールスポイントは？ 書く、2分間で話す
〔自己分析 長所・短所等〕
3. 学生時代に得たもの
何に取り組み、何を得たか?
〔卒論・修論、クラブ活動、ボランティア、アーライト・・・〕

人事担当者を聞く気に、読む気にさせる表現

11月4日（木）面接対策講座（第2回／全5回）

内定！→在留資格の変更

『留学』
↓
『人文知識・国際業務』、『技術』等

- 本人の学歴（専攻、研究内容など）から相応の技術・知識などを有するか
- 職務内容が本人の技術・知識を活かせるか
- 本人の待遇（報酬など）が適当であるか
- 雇用企業の妥当性

11月16日(火)5限 「就職活動入門」 副井

7) アンケート集計（参加学生数 11名）

Q1. このイベントを知ったきっかけ（複数回答可）

選択肢	回答者数	割合 (%)
1. 大学の掲示など	2	14
2. 学校のホームページ	8	58
3. 友人・知人の紹介		
4. 大学職員の紹介	3	21
5. その他	1	7
合計	14	—

その他（主なもの）：

Q2. 企業からのアドバイス

選択肢	回答者数	割合 (%)
1. 大変よかったです	3	27
2. よかったです	5	45
3. 普通	2	18
4. あまり役に立たなかった		
5. 全く役に立たなかった		
6. 未回答	1	
合計	11	—

主な理由：

- ・企業側の意見を聞いて、企業はどんな留学生を求めているのがよくわかりました。
- ・マクドナルドを営業している社長が就職の話をしてくれてありがとうございますけど、できれば理工系の会社からの話も聞いてみたいです。

Q3. 卒業生の話 1) 陸 琳 氏（京セラミタ）

選択肢	回答者数	割合 (%)
1. 大変よかったです	7	64
2. よかったです	4	36
3. 普通		
4. やや不満だ		
5. 不満だ		
合計	11	—

主な理由：

- ・陸琳さんはたくさんアドバイスを後輩たちにしていただいてほんとうに感謝しています。

卒業生の話 2) 牟 猛 氏（天辻鋼球製作所）

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大変よかったです	4	36
② よかったです	6	55
③ 普通	1	9
④ やや不満だ		
⑤ 不満だ		
合計	11	—

主な理由：

- ・牟猛さんは素直に会社の仕事やなやみなどを後輩に伝えてくれてほんとうに役立った情報だと思います。

Q4. キャリアセンターからの助言

選 �chiochikuhachi	回答者数	割合 (%)
1. 大変よかったです	5	45
2. よかったです	6	55
3. 普通		
4. やや不満だ		
5. 不満だ		
合 計	11	—

主な理由：

Q5. 事業の満足度

選 択肢	回答者数	割合 (%)
1. 大変よかったです	4	36
2. よかったです	6	55
3. 普通	1	9
4. やや不満だ		
5. 不満だ		
合 計	11	—

主な理由：

Q6. 事業に参加しての意見・感想

- ・また参加したいです。いろいろ就職活動に関する情報説明していただいてほんとうにありがとうございました。
- ・いいことです。また参加します。いい事業だと思います、ありがとうございます。
- ・これからも留学生のための就職活動に役立つ活動を行ってほしいです。
- ・就職に関する情報をたくさんいただきました。本当に今回の交流会に出席できてよかったです。
- ・理工系といえば機械や電気だけではなくて、土木工学という学科もあります。土木工学を学ぶ留学生は多分日本には少ないと思いますが、もし日本で日本の建設会社とか土木系の会社に勤めているOBとOGがいるとしたらぜひ就職の話を聞いてみたいと思います。

『(財) 中島記念国際交流財団助成』 日本学生支援機構実施事業
**「多文化共生コミュニティーづくりへ
－留学生の就職を応援－」 実施報告書**

編集・発行 烏取県留学生等交流推進協議会
〒 680-8550 烏取市湖山町南4-101
鳥取大学研究・国際協力部国際交流課内
TEL : 0857-31-5056
FAX : 0857-31-6065

